

企画・制作／(株)宣通
TEL.(052)979-1600

広告

企画・制作／(株)宣通
TEL.(052)979-1600

教えて!! ドクター



薬といわれる花粉症薬の副作用として眠気が生じるため、眠気のない漢方治療もおすすめです。漢方は、病院にて医師の診断のもとに処方されれば、保険治療が可能です。

症状別の漢方を紹介します。

Q 每年春先になるとひどい鼻づまり、鼻水といった花粉症状におそれます。どのようにしていけば、この症状を軽減で

きるのでしようか。また、何かよい漢方での治療法があつたら教えてください。

A 花粉症は今や、国民病とも言われ、毎年決まった時期の鼻水や目のアレルギー症状を“花粉症”と呼びます。また、

くしゃみや鼻水だけではなく、皮膚が痒くなる“花粉性皮膚炎”も、乾燥肌によって花粉が皮膚より侵入することによつて起ります。花粉症の症状が強くなつてからではなかなかお薬も効きにくいため、早めの対策が必要です。花粉を体に取り込まないよう工夫することで、花粉症の時期を楽に過ごすことが可能です。抗ヒスタミン

夷清肺湯。副鼻腔炎・にきびがある・荊芥連翹湯。咳が出る・五虎湯。鼻水が喉の奥に垂れる・辛夷清肺湯。副鼻腔炎・にきびがある・荊芥連翹湯。咳が出る・五虎湯。

花粉症一つでも、漢方では、症状により多様な処方があります。その人の体质により、オーダーメイドで処方が可能ですが、花粉症症状の軽減だけではなく、冷えやニキビなどの症状も同時に治療することができます。



総院長 向田 公美子
(くみこクリニック)

三重大学医学部卒業。京都大学医学博士。
日本アレルギー学会認定アレルギー専門医、日本東洋医学会認定漢方専門医。

あなたの街の 病院ガイド



医療法人新生十全会
京都市右京区常盤古御所町一一番地

JR嵯峨野線「花園駅」より徒歩5分

（075）
881-2830

坂本歯科医院

城陽市寺田樋尻69-37

（0774）
55-5200